

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

## 1. 申請団体情報

## 1-1. 申請団体

団体名	佐世保市	代表者名	朝長 則男
担当者部署	観光商工部商工労働課	連絡先電話番号	0956-37-6112
担当者役職	係長	担当者氏名	鳥本
住所	857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10		

## 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンラインでの開催となりましたが、出来るだけ参加者はカメラをオンにし、チャット機能を使用しながらセミナーを進められたため、講師と参加者の意思疎通を図りながら開催出来、リアルで開催する以上に、その時その時の参加者の意見や疑問を確認出来ました。これは、講師が自分の伝えたい内容を熟知し、チャットを確認しながら進めていただくことに大変慣れていらっしゃるからこそ出来る方法ですし、最終段階に質疑応答をするよりは、その都度意見を確認しながら進めることができるという利点が大変活かされていました。
アドバイザーへの要望事項	今年度利用できる3回のアドバイスに関してはとても満足していますが、継続的にサポートを希望します。

## 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月31日	16時00分	17時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	佐世保市産業支援センター		最寄駅	佐世保駅
	所在地	佐世保市松浦町5-1		最寄駅からの交通手段	バス・タクシー
	派遣形態	講演(オンライン)			

## 4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

## 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般	68人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的に記入下さい)	DX推進について、行政側で取り組むDXとは別に、民間特に中小企業のDX化について所管を分けて取り組んでいる。本来であれば、官民がお互いの状況を共有した上で、取り組むべき方向性などを明確にし、官民の垣根を超えた連携が行えるようすることが、地域のDXを進める上でのカギであり、課題であると認識している。	
支援により目指す成果 (具体的に記入下さい)	地域全体をDX化するために、それぞれがそれぞれの立場でDXの必要性を認識し、今、変わる変えるために地域全体で取り組むべきことを考える。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	コロナの影響もありオンラインが当たり前で、地域は越境することが前提で考える必要がある。アフターコロナを待つのではなく、ウィズコロナで環境の変化に付いていかなければならない。佐世保市は、付いていこうとしているので、事業者や学校はもちろんだが支援機関が変わらないと事業者(地域)は変わらない。「DXで仕事がなくなるのでは」と考えるより、DXに取り組むことで、多様性が生まれ色々な方がチャレンジ出来たり、選択肢を増やすために取り組むことと捉えた方がいい。地域の魅力は地域全体で連携し作っていくことである。そうすることで、移住者等外から人を集めることにつながる。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	DXにおける官民連携及び産学官連携の意義や、事業者の経営等を支援する銀行を含めた支援機関の意識改革につながり、事業者や学校の連携についても意思疎通の機会となり、「地域のDX化」のスタートとなる機会となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="radio"/> その他
	DXに取り組むために官民連携の必要性を確認出来、「地域のDX化」への意思疎通ができた。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	無い
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 チャットと参加者の意見を聞くことにしたため、アンケートを実施しなかった。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	「地域のDX化」を推進するために支援機関の役割が重要とのことで、年度内に支援機関を対象としたセミナーをリアルで開催し、課題抽出や取り組むべきことの確認等を実施予定。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

